

公 表 日

平成 29 年 4 月 3 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成 29 年度鶴田ダム再開発施工計画検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 川内川河川事務所長 坂元 浩二 薩摩川内市東大小路町 20 番 2 号
契約年月日	平成 29 年 4 月 3 日
契約業者名	日本工営 (株)
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区東比恵 1-2-12
契約金額	17,928,000 円 (税込み)
予定価格	18,349,200 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	川内川河川事務所
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	平成 29 年 4 月 1 日
履行期間 (至)	平成 30 年 3 月 31 日
備考	入札情報サービス (PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成29年度鶴田ダム再開発施工計画検討業務
2. 履行場所 鹿児島県薩摩郡さつま町
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12R & Fセンタービル5F
会社名：日本工営株式会社福岡支店
電話：092-475-7131
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由
 - 1) 当該業務の目的
本業務は、鶴田ダム再開発事業において、既設減勢工及びダム下流右岸法面における施工計画（検証及び修正設計）の検討を施工性、工程、実現性、経済性など総合的に判断し行うものである。
 - 2) 業務の内容
計画準備 1式、現地踏査 1式、既設減勢工マット部構造検証 1式、ダム下流右岸法面对策関連の修正設計 1式、ダム下流右岸管理用道路の修正設計 1式、ダム下流右岸排水路の修正設計 1式、CSG室内等試験結果解析 1式、ダム下流右岸法面の管理基準検討 1式、報告書作成 1式
 - 3) 契約に付する理由
本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。
参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を12者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。
参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。
建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。
特に「配置予定技術者の成績及び表彰」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施手順」における目的、条件、内容の理解度が高く、実施フロー等の妥当性が高く工夫が図られ優れた内容が記載されていること、及び特定テーマの「ダム下流右岸法面对策の修正設計を行う上での留意点（施工性、実現性、経済性）について」に対する技術提案について着眼点、問題点、解決方法等が的確かつ論理的に整理され、最も優れた提案が行われていたものである。
よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

川内川河川事務所 工事課長